

# 寝屋川市内で『災害時における避難所アセスメント』を実施しました！

日時：2018年8月17日（金）9：30～12：00

場所：寝屋川市総合センター

参加者：大阪府寝屋川保健所と寝屋川市の保健師＋医大生の皆さん（21名）

ファシリテーター：建築学科生10名＋大学院生1名＋教員1名（計12名）

## 今回の見どころ

「避難所アセスメント」とは、災害時に避難所に人が押し寄せた時、避難所の過密度を測るもので、主に保健師さんが行います。今回の研修では、寝屋川市内で大地震が発生したと想定し、寝屋川市と大阪府に勤務する保健師さんが寝屋川市内の避難所の過密度をアセスメントします。このアセスメントをしなければ、避難所内の状態が把握できず放置され、インフルエンザが流行ったり、体が不自由な人が怪我をする可能性が高くなります。よって、保健師さんによる避難所アセスメントは非常に重要です。災害時、大阪府の保健師さんは寝屋川市の保健師さんを応援する立場です。この研修は、寝屋川市の避難所の状態を良くするために、大阪府と寝屋川市の保健師さんの各々の役割分担を考えるものでもあります。

## プログラム実施風景



初めに、大阪府寝屋川保健所長による事前レクチャーがありました。



演習がスタートし、寝屋川市内で発生しそうな被害について説明しました。



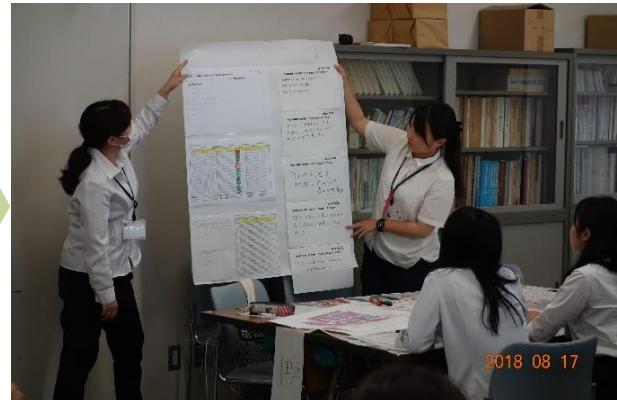
付箋を使って寝屋川市の地図上に地震後に発生した被害を整理しました。



避難所にいる被災者に見立てたカードを使って、避難所生活困難者をピックアップしています。



ピックアップした避難所生活困難者は病院に送るか、福祉避難所に送るか、この避難所内で移動するか、考えて頂きました。



最後の発表で、地域を知る市の保健師さんは全体を取りまとめる役割であり、府の保健師さんは避難所の情報を集める役割であることが共有されました。

## プログラムの実施結果

保健師さんの災害後の役割とは、避難所生活が困難な被災者に対し、その状態に見合った福祉避難所や病院に移動してもらう判断をすることです。後日調べてみると、避難所生活では、体調を崩したり中には亡くなってしまっている方がいることがわかりました。そのようなことを防ぐために保健師さんの役割は大切であり、この研修を続ける必要があると思いました。この研修は先輩が作られたものですが、私もこのような研修を作りたいと思うようになりました。特に当日、張り詰めた空気の中、先輩がスムーズにプレゼンし、進行されているのを見て、どうすれば「人に伝えられるのか」を改めて考えました。研修後の自分のプレゼンでは、特に重要な点に着目した話し方をするなど心がけるようになりました。

今回のプログラム実施にあたり、プログラムに参加していただいた保健師の皆さんに心から感謝申し上げます。